

## 山那区地元説明会質問等要旨

- 日 時 平成25年7月28日(日) 午後7時～午後8時45分  
(1時間45分)
- 場 所 山名学習等供用施設
- 出席者 山那区住民38名(38世帯)
- 傍聴者 江南市議会議員7名、扶桑町議会議員2名
- 江南市 市長、副市長、生活産業部長、広域ごみ処理施設建設対策室長始め5名
- 扶桑町 町長、副町長、産業建設部長、産業環境課長始め4名
- 準備室 尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議準備室長始め準備室員2名

### (1) 環境への疑問に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・交通の問題も心配だが、ダイオキシン類の子どもへの影響が心配だ。基準は十分にクリアしているとはいえ、普段の生活の中で、食品や大気などからダイオキシン類を取り込んでいるうえ、ごみ処理施設が建設されるとなると心配である。</p>	<p>・排ガス中のダイオキシン類の排出基準値について、現在の江南丹羽環境管理組合の焼却施設の値は5 ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nであるが、平成9年度の法改正により新施設は0.1 ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nで、実に50分の1となる。さらに、より厳しい自主規制値を住民の皆さんと一緒に設定させていただく。</p>
<p>・施設ができると、25年から30年間付き合っていくことになる。作物への影響ということで、土壌の定期的な検査は実施していただけなのか。</p>	<p>・現在の江南丹羽環境管理組合でも、施設周辺の14か所において、土壌のダイオキシン類の検査を実施している。国の環境基準値は1,000 pg-TEQ/gのところ、地元との協定で250 pg-TEQ/gを基準値としているが、結果はこの基準値をはるかに下回っている。併せて、大気、水質などの検査も実施しており、すべて基準値以内となっている。新ごみ処理施設にあっても同様に検査を実施していく。</p>

(2) 施設に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・江南丹羽環境管理組合を見学した際、施設からのにおいは気にならなかったが、焼却灰から臭気が出ていた。新施設では、焼却灰の処理方法はどのようなのか。</p>	<p>・焼却灰から臭気が出ていたということであるが、焼却灰については水、セメント、薬品を入れ、固化灰にしている。この固化灰は、臭いがなく、風で飛散することもない。</p> <p>ごみ処理の方式については、今後住民の皆さんに入っていただいて立ち上げる施設整備検討委員会での検討を踏まえ決定していくことになるため、現時点で焼却灰の処理方法は未定である。</p> <p>ちなみに、施設見学を予定している名古屋市鳴海工場や五条川工場などの施設は、ごみの熔融施設となっており、最終的に焼却灰は発生せず、熔融物は建設資材などとしてリサイクルされている。</p>

(3) その他

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・ごみ処理施設は、平常時には大きな問題はないと思うが、例えば地震等で、電気が数日間供給されない場合、どうなるのか。</p> <p>また、木曾川が氾濫した場合、どのように対応するのか。</p>	<p>・災害時に、施設を安全に停止するため、ごみ処理施設には自家発電設備が設置される。さらに、東日本大震災以降、ごみ処理施設を防災拠点として位置付けることが検討されるようになった。施設の再起動ができれば、大規模な停電時にも、電気や風呂のある住民の避難所として位置付けることが可能となる。こうした方向で検討していきたいと考えている。</p> <p>国土交通省木曾川上流河川事務所発行のハザードマップによると、中般若町北浦地区は、200年に一度クラスの木曾川の氾濫時にも、浸水のおそれはないとされている。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・江南丹羽環境管理組合の敷地面積はどれぐらいか。</p> <p>・新施設の敷地面積も3ha程度という事であるが、中般若町北浦地内の候補地は7haで評価している。将来的にこの場所での建て替えを考えているということか。</p>	<p>・江南丹羽環境管理組合の敷地面積は、3ha程度である。</p> <p>・中般若町北浦地内の7.2haというものは小字全体の面積であり、この中の3haから4haをごみ処理施設の敷地としていく。今後、第1小ブロック会議で具体的な建設エリアを検討し、皆さんにお示しをしていきたい。</p> <p>なお、本来の枠組みは、小牧市と岩倉市を含めた4市2町であり、今回はこの枠組みで検討することになる。中般若町北浦地区で建て替えることについては、考えていない。</p>